

公 式 試 合 記 録



公益社団法人

日本ホッケー協会

令和7年度 第57回全国高等学校選抜ホッケー大会

試合番号	試合日	開始時間	種別/プール/回戦	試合会場
	2025年12月21日	09:30	女子/2回戦	岐阜県立岐阜各務野高校グラウンドSW

チーム名 長崎県立川棚高等学校	0 0 0 0	1 Q 2 Q 3 Q 4 Q	0 1 0 2	3	チーム名 天理高等学校
--------------------	------------------	--------------------------	------------------	---	----------------

時間	背番号	氏 名 (GK/C)	G	Y	R
×	1	松岡 叶子 GK			
×	2	下山 瑠菜			
×	3	池谷 花音 C			
×	4	深井 心菜			
×	5	浦 瑠愛			
×	6	松岡 柚葵			
×	7	長谷 心那			
×	8	富永 とかね			
×	9	小山田 薫			
×	10	黒崎 みちる			
×	11	金山 美月			
11	12	河内 希亜			
	13	橋本 あおい			
	14	山内 道乃			
	15	岩永 彩美瑠			
	16	釜坂 花美			
	17				
	18				
コーチ		福本 敦史			

時間	背番号	氏 名 (GK/C)	G	Y	R
×	1	辻 爽楽 GK			
×	2	清水 梨緒那	56		
×	3	佐野 優羽風			
58	4	遠田 ゆう			
3	5	山本 真央 C			
×	6	矢野 友徠			
×	7	松本 晏奈			
×	8	薄葉 弓綾			
×	9	飯島 花成			
×	10	伊藤 美月			
16	11	井出 せつ			
×	12	鎌田 歩花			
×	13	山本 日夏華			
	14	酒井 琉果			
28	15	薄葉 千璃			
8	16	榎本 光希			
57	17	榎本 朱里			
×	18	寺島 希音			
コーチ		竹原 淳			

監 督 志田 達広
アンパイア 松原 初花
スコアリングジャッジ 蔦木 勝
T O 荻谷 和代

監 督 加藤 理恵
アンパイア 信井 康博
タイミングジャッジ 花部 正人
リザーブアンパイア 山本 昂

得点【種類：FG＝フィールドゴール、PC＝ペナルティコーナー、PS＝ペナルティストローク】																						
チーム	時間	No.	種類	得点				チーム	時間	No.	種類	得点				チーム	時間	No.	種類	得点		
天理	25	16	FG	0	-	1																
天理	48	7	FG	0	-	2																
天理	52	6	FG	0	-	3																

特記事項:

日本ホッケー協会

日本ホッケー協会

チーム名	長崎県立川棚高等学校
------	------------

0	0	1	Q	0	3
	0	2	Q	1	
	0	3	Q	0	
	0	4	Q	2	

チーム名	天理高等学校
------	--------

時間	背番号	氏 名 (GK/C)	G	Y	R
×	1	辻 爽楽 GK			
×	2	清水 梨緒那	56		
×	3	佐野 優羽風			
58	4	遠田 ゆう			
3	5	山本 真央 C			
×	6	矢野 友徠			
×	7	松本 晏奈			
×	8	薄葉 弓綾			
×	9	飯島 花成			
×	10	伊藤 美月			
16	11	井出 せつ			
×	12	鎌田 歩花			
×	13	山本 日夏華			
	14	酒井 琉果			
28	15	薄葉 千璃			
8	16	榎本 光希			
57	17	榎本 朱里			
×	18	寺島 希音			
コーチ		竹原 淳			

監督 加藤 理恵
アンパイア 信井 康博
タイミング ジャッジ 花部 正人
リザーブ アンパイア 山本 昂

[illegible]

戦 評：

第1Q、天理高等学校のセンターパスにより試合が開始された。開始早々から両者互いに激しい攻防を繰り広げる。川棚は勢いのある攻撃でロングボールで前線へ繋げていこうと試みるが、天理の堅い守備に阻まれ、得点するチャンスを作ることができない。第1Q終了間際に天理が右からのまわり込みでシュートを放つも、川棚#1GK松岡の好セーブで得点には至らず、0-0のまま第1Qが終了。

第2Q、お互いに激しい攻防を繰り広げ、23分天理の早いリスタートで右からの打ち込みのボールを#16榎本光がゴール前で冷静にタッチシュートを決め先制点をあげる。天理ペースで試合が進み前半終了間際、ドリブル突破で決定的なチャンスを作るも得点には至らず、0-1で前半戦が終了。

第3Q、前半で勢いに乗った天理は高い位置からパスカットし、相手陣内に果敢に攻め込み攻撃を仕掛けるも、川棚の粘り強い守備により得点チャンスを作ることができない。38分、川棚がPCを取得しヒットシュートを放つも天理GK#1辻の好セーブにより阻まれる。得点が欲しい川棚も#10黒崎を中心に攻めるも得点チャンスを作ることができない。天理#10伊藤が右からドリブル突破しリバースシュートを放つも得点には至らず、そのまま第3Qが終了した。

第4Q、49分天理が左サイドからのドリブル突破でサークル進入し、混戦の中を#7松本が押し込み追加点をあげる。52分天理#6矢野がシュートを決め、0-3と点差を広げる。得点が欲しい川棚は58分#8富永がブッシュシュートを放つも天理GK#1辻の好セーブに阻まれる。試合はそのまま0-3で天理高等学校が勝利し、準々決勝へと進出した。